



長崎県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「不離一体・中小企業経営に役立つ同友会活動の実践」 ～同友会活動が企業を支え、地域を育てる～

長崎大学×中小企業家同友会 長崎景況レポート2018発表会 開催報告

日時：2019年3月20日(木) 14:00～16:30 会場：長崎商工会館2Fホール



本調査は、長崎県中小企業家同友会と長崎大学経済学部山口研究室が協働して長崎県の中小企業の経営の実態を把握することを目的として始めたものです。調査対象や調査項目などを一から考えて作成し、学生が県下31企業にヒアリングしてその結果を報告書にまとめました。

今回の発表会では、調査を経てわかった長崎県の景況結果を共有するために、ヒアリングの概要と結果、学生がヒアリングを実施して率直に感じたことを約45分間で報告しました。長崎県全体の景況調査の結果は、「売上は緩やかに回復基調だが、人材確保が喫

緊の課題」となり、企業の経営の状態を判断するために売上を指標としたため、その売上に影響する企業の商品や情報の受発信、人材等の合計7項目それぞれの実態を報告しました。

最後に、ヒアリングを実施して率直に感じたこととして、想像していた企業と大きなギャップがあったということを報告しました。想像していた企業は明確なビジョンを掲げそれを達成しようとする事業をしている企業だったのですが、今回ヒアリングをした企業の大半が売上を上げたいのみに終始し、売上を上げて何を達成したいのかが分からない、つまり、ビジョンが



目

次

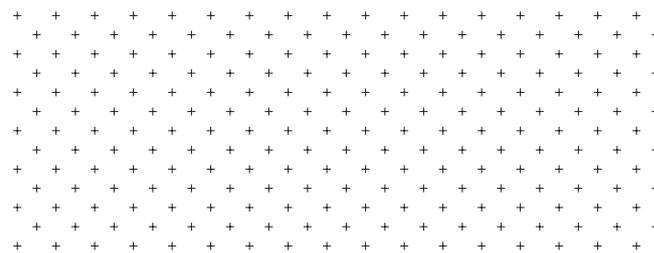
長崎景況レポート2018発表会 開催報告	1	会員活躍	13
各界からの提言	3	事務局企業訪問	14
4月例会報告	4	新入・交代・復会会員紹介	15
2019年度 合同入社式 開催報告	10	理事会報告	16
中同協 第4回幹事会 参加報告	11	会員動向・会員数	17
書籍の紹介	12	5月例会案内	18



ない企業が多く、その点が大きなギャップとなりました。長崎県全体の結果として人手不足が喫緊の課題でしたが、ビジョンがなく、企業の存在目的が不明瞭な企業には人は集まらないのではないかと、一感想として報告しました。

報告後は、8つのグループに分かれて報告に対する質問や感想などを各グループで議論しました。そのなかで、なぜいま人手不足なのか、若者はどんな企業に入りたいのか等について意見を共有することができ、グループ発表では、ビジョンを持つことが大切である等のヒアリング結果を受け止める声を改めて聞くことができました。今回の発表会において、報告と意見交換を行い、長崎県の景況の現状について共有、そして、それに対する様々な視点での前向きな意見交換ができた一日となったのではないかと思います。

(文責 長崎大学経済学部 山口研究室)



投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数／約 500 字

●画像／歓迎します

掲載／情報広報委員会にて選考

投稿先／情報広報委員または同友会事務局まで

メール／jimu@nagasaki.doyu.jp



折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月 10 日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月 20 日～月末に行います。支部指定も出来ます。

A 4 チラシ 1 枚 5 円です。**A 3 チラシは 2 枚分**となります。ご利用お待ちしております。

各界からの提言

日本銀行 長崎支店長 平家 達史



プロフィール

■生年月日：昭和40年4月15日

■略歴：平成元年3月 滋賀大学経済学部卒業、同年4月 日本銀行入行。金融監督庁、金融再生委員会、預金保険機構に出向。政策委員会室企画役（政策委員スタッフ）、名古屋支店営業課長、金融機構局金融第2課長、金融機構局上席考査役を経て、平成30年3月より長崎支店長。

日本銀行長崎支店は開設70周年を迎えました。この間の皆様のご理解とご協力にこの場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

この70年を振り返ると、長崎県は全国に20年余り先行して人口減少社会に突入しましたが、全国との違いは戦後一貫して続く転出超であり、生産年齢人口が大幅に減少しています。この間、主力産業は水産業や鉱業などから造船業や建設業に移り、近年は卸・小売やサービス業のウェイトが拡大してきたほか、製造業では電気関連のウェイトが高まってきています。ただ、2000年代以降は、全国的な景気回復・拡大の恩恵を十分に取り込めず、緩やかな持ち直し・回復を続けつつも、全国対比低成長に止まっています。また、労働生産性は全国で下から3番目であり、労働力人口の減少と相俟って経済成長の足枷となっています。

もっとも、人口減少下でも経済成長を実現することは可能です。他地域の例をみると県外・海外需要の取込みや生産性の向上等に活路を見いだしていくことが鍵です。それは「B to B」でも、「B to C」でも同じです。当地には長年培われた製造業の技術や豊富な観光資源があり、アウトバウンドの面では輸出・移出の強化、海外・国内他地域からのインバウンドの面では観光の産業化が考えられます。

また、生産性の向上も必要です。

$$\text{労働生産性} = \frac{\text{付加価値}}{\text{労働投入量}} \quad \text{付加価値} = \text{売上高} - \text{外部購入費}$$

生産性は付加価値と労働投入量により決まります。労働投入量を減らすために、作業工程のムダや過剰生産・在庫の排除、ペーパーレス化や情報技術の活用といった取組みがなされています。この際に大切なのは現場と管理のものにしっかりと分けて考えるということです。

また、付加価値は売上高と外部購入費により決定されますが、外部購入費の削減も原材料の共同購入、外注の活用等の取組みが既に進められています。そうした中で取り組むべきは売上高の増大です。それは「良いものを高く売る」、つまり自社の製商品の価値を理解してくれる先を探すことです。そのためには、①新製商品の開発、新市場の開拓（自社の強みを活かす）、②顧客ニーズの把握・分析とニーズに見合った質と量の提供（顧客目線）であり、ベースとなるのは研究・開発と営業だと考えられます。バブル崩壊などの荒波を乗り越えてこられた皆様であれば、必ず実現できると思います。

私ども日本銀行長崎支店としても、引き続き皆様のお役にたてるように意見交換や情報発信を続けて参ります。

長崎浦上支部 例会報告

日 時	3月19日(火) 18:30～21:00
会 場	長崎新聞文化ホール・アストピア
テ ー マ	アート・ワンの戦略 ～変化と挑戦は人のご縁から～
報 告 者	アート・ワン(株) 代表取締役 一ノ瀬 卓 会員



一ノ瀬さんは先代の社長の死により会社を引き継いだ。残されたのは5千万円の借金と社員。決心したのは存続を希望する取引先の声と雇ってくれた社長への恩。5千万円は社長の親族が清算してくれた。一旦会社は解散し事業を引き継いだ。その時26才。ゼロからのスタートだった。

シルク印刷という特殊技術を武器に事業を行い、軌道に乗ると不動産業を足掛かりに安定収入を目的とし



たビジョン広告へと事業を広げる。今私たちが目にする赤迫や時津にある大型のスクリーンは一ノ瀬さんが手がけたもの。収益性は私たちの想像より高い。その後「取りあえずやってから考える」の信念のもとプロデュース業へと事業展開。長崎市や時津町など公共事業の案件にも名乗りを上げ、受注。一ノ瀬さんの自社の利益より相手の利益を優先する姿勢や企画、デザイン、製作を一括して行うことでコストを下げ、その分お客様に還元するスタイルが受け入れられたのだろう。

アイデアを形にしていく行動力。そこにある戦略性。人格に集まる人脈。まさに正のスパイラル。事業の中でアート・ワンの社名から先代の社長の名がお客様の口から出る時、先代に対する感謝を感じると語る、そういう姿勢が会社を良い方向へと進ませているのかもしれない。今後も私たちの想像のはるか先をいく事業を一ノ瀬さんは考えているのだろう。

(文責 西村 浩文)

長崎出島支部 例会報告

日 時	3月27日(水) 18:00～20:30
会 場	サンプリエール
テ ー マ	我が青春のアルカディア 縛られぬ魂は同友の船に乗って ～ピンチこそ同友会に答えあり～
報 告 者	(有)アイエフエス うどん「とも也」 代表取締役 伊折 志登也 会員

3月例会は「我が青春のアルカディア 縛られぬ魂は同友の船に乗って、ピンチこそ同友会に答えあり」をテーマに同友会での学びを自社に生かす方法を報告していただきました。

伊折さんの報告を聞いて新しいビジネスへ挑戦する意欲、思いが強いと感じました。その思いは、以前の同友会の仲間の報告を聞いてからだ聞き、同友会での学びを会社に生かし、発展し、継続させていると学びました。そして待つのではなく、自分から積極的に情報を発信して、周りの仲間と情報を共有していくことが大事で、そこにチャンスがあるのだと感じまし



た。それは共同開発という形で商品になり、実際に実行されています。近年、企業と企業の共同開発の記事をよく目にします。少子高齢化による人口減少で販売力の低下が囁かれています、そんな時こそ中小企業家同友会の仲間が協力できる部分が多いにあると思います。企業における同友会の役割を考えさせられる実りある例会でした。

(文責 本多 邦暁)



大村支部 例会報告

日 時	3月20日(水) 18:30 ~ 21:15
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	人手不足、人財不足の解決は、 まず内的要因の解決から
報 告 者	ブライアント(株) 代表取締役社長 橋口 久 会員 (佐世保支部 県共同求人委員長)



2018年度最後の例会は、昨年から設立された県共同求人委員会主催の例会となり、県共同求人委員長の橋口さんからご報告いただきました。

人財不足の問題は、外的要因と内的要因に分けられるが、外的要因については人口減少問題や消費の低迷、マイナス金利など経済の基礎体力の低下に要因するもので、把握しておかないといけないが、解決するのは難しいのでまずは、内的要因の解決から取り組まないといけないとのこと。内的要因では、経営理念、経営指針書の作成・就業規則の見直しや経営者と社員の共育、次世代の人を生かす経営として多様性への理解などをあげられ、内的要因を解決する事で選ばれる企業づくりに繋がります。

同友会では、経営労働委員会や共育委員会、ダイバーシティ委員会等が担当しているが、共同求人委員会は、それらの委員会と連携し、選ばれる企業になるために、多くの項目について啓蒙する役割である。そして、共同求人委員会ができたことで、四位一体となり同友会の体制も整ったと、共同求人委員会の役割と意義についてもわかりやすく説明されました。



また、同友会活動は、例会が主な活動と思われるがちであるが、各委員会の活発な活動が縦の軸、それを繋ぐ横の軸が例会であり同友会のあるべき姿との説明

がありました。

グループディスカッションでは、多くの企業が人材不足をあげる中、人材に困っていない企業もあり、社員が辞めない労働環境が整っている、または、新規雇用の仕組みができている等の共通事項がありました。

人財不足には、内的要因の解決を行わないといけません、社員や若者、地域に選ばれる企業にならないことがわかりました。例会後の懇親会では、2名のゲストが入会宣言され、会員のみならず学びの例会となりました。

(文責 高瀬 邦彦)



諫早支部 例会報告

日 時	3月21日(木) 18:30～21:00
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	原点回帰 手作りの経営フォーラム ～いま諫早支部がひとつになる～
報 告 者	(株)諫早スイミング 代表取締役 平湯 湧一 会員



2019年10月19日、国立諫早青少年自然の家で開催予定である経営フォーラムに向けて平湯さん自身の経験をもとに、これまでの人生の岐路について考えさせられる言葉、師との出会いや先輩や友との語り、行動力など経営者としての苦労や転機について話していただき、素直な気持ちで受け止め行動に移す大切さを改めて感じました。

若くして会社を任せられ、企業の発展を目指していた頃の思い、社員とのコミュニケーションの難しさなどを悩み、原点を振り返るために単身アフリカ大陸を目指し実直に生きる動物たちの姿や現地の方々との交流の中で食事を共にし、志を新たにされたそうです。

特に興味深かったのは同友会活動の中での研修やセミナー等を通じ研鑽されたことを生かして経営指針や理念事業計画を社員と共有されたことで会社の発展や安定をつくられたというところです。また産学連携の



研修会によって思いがけなく青少年自然の家のスタッフの方との出会いがあり、10月に開催予定の経営フォーラムの会場として利用することとなりました。すぐに現地調査や施設の確認も行い、準備は着実に進んでおります。

最後に4月の県定時総会で講演される植松努氏の著書から引用され、「もしなにかに迷っちゃったときには、『自分は楽を選んでいないかどうか』だけを気をつければいい。」というフレーズを用い経営フォーラムへの熱い思いを感じる報告となりました。

その後の、ディスカッションではフォーラムでの学び、「題材」集めに焦点をあて、困っていることは？をテーマに行いました。

人材確保や育成、事業継承、理念作成、経営指針、など仕事にかかわること以外にも現地でしかできない体験やオリエンテーションなどのいろんな意見ができました。これから細かい打合せや研修を行い、きっと諫早らしい素晴らしいフォーラムになると確信しています。

同友会に参加してまだ半年程ですが、改めて同友会活動を通し日々の仕事や生活に生かして周りの方にも同友の輪を広げていければと思いました。

(文責 廣瀬 一孝)

島原支部 例会報告

日 時	3月27日(水) 19:00～21:00
会 場	HOTELシーサイド島原
テ ー マ	菓子は人なり ～受け継ぐこと、変えてゆくこと～
報 告 者	ガトーフリアン 中村 真幸 会員

中村さんの印象は「お菓子の国の王子様」的な笑顔を常に絶やさぬ男なので、人生順風満帆なんだろうなあと勝手に思っていました。しかし母子家庭の生活で母親とお菓子を作っている時が一番幸せだったから



この道に進んだ、と聞かされた時に彼への見方が変わ



りました。

東京の専門学校で学び、大叔父経営の洋菓子店ガトーフリアンへ後継者として入社。日本最古のチーズケーキのレシピを持つ有名パティシエだった大叔父の味を守りつつも、研鑽を重ねることで県大会では社員と共にワンツー優勝を飾るほどの腕前にまで成長しましたが好事魔多し。大叔母の入院で財務状況を見てみると財政は火の車だったので、どん底脱出の経営を学ぶべく同友会へ入会したとの経緯でした。

報告テーマの「菓子は人なり」とは、「他者と同じ材料で物事に取り組んでも、真摯な心の有るか無きかによって結果は変わってしまう」との専門学校の教育理念から。「現在では少しずつ売上げを回復してはきましたが、まだまだ余裕が少なく悩みが尽きないので」と本音がポロリ。

グループディスカッションでは悩み多き中村くんの一助になれば、と各グループとも白熱した意見交換がされました。



- ・もっとSNSを活用して発信せんば!!
- ・ブランディングが全くできていないよ!!
- ・受賞作は何でPRせんと!? 何で売らんと!?
- ・日本最古のレシピを食べてみたい!!

あーでもない、こーでもない議論が進むにつれ我々のグループでは「果たして自分は説教できるほどできているのか?」と自問自答するようになってきました。まだまだ勉強の途上です。と中村さんが話してくれたことで「菓子は人なり」この言葉を皆、自社の商材や商品に置き換えて、もっと真摯に向き合わねばとの反省もありました。

経営体験報告を聞くだけでなく、報告者の身になったつもりで意見交換をし、自社の商品や環境に対する己の姿勢を自問自答する。今期一年を締めるに相応しい、経営者としての気付きや学びがとても多かった例会でした。

(文責 永吉 誠)

佐世保支部 例会報告

日 時	3月19日(火) 19:00~21:00
会 場	アルカス佐世保 3F 大会議室
テ ー マ	未来につなげる新事業への取り組み
報 告 者	(有)菅原産業 取締役 菅原 千代枝 会員 (長崎出島支部)

今回県のダイバーシティ委員長である長崎出島支部の菅原さんに佐世保支部での報告をお願いすることとなった。障がい者雇用や外国人の登用等々の幅広い啓発活動をされている菅原さん。よく考えてみると本業は何をやっているのか知らないことに気づいた。

現社長である旦那様の実家を承継するため、諫早へ転入し、家業を発展させるため、様々な取り組みを進めてこられた。あるきっかけで始まった障がい者雇用では、彼らの能力を知り、これまでの自分の偏見を反省した。また、同業他社からの学びも大きいと、県外の企業視察を行い、そこで得た知識やノウハウを積極



的に自社に持ち帰った。

そうやって得た学びの一つにSDGs (エスディーゼーズ)がある。誰一人取り残さない。持続可能な社会形成のために。そこに気づいた企業経営者として取り組めることは何なのか。また、このことによる自社の使命は何なのか。常に学ぶ姿勢と、学んだことを実行に移す行動力。菅原さんからは気づき、考え、行動する。単純なようで難しい、行動実践の模範のような報告を聞くことができた。

本業の経営の中からは、この社会において切ること



ができない「廃棄物処理」についての現状や課題を提起していただいた。

グループディスカッションではそういった課題を、我々会員企業の一人ひとりができる取り組みは何なのか。そういった事を考えさせられる報告でもあった。

今回の報告は環境や福祉について考えさせられ、自社に直結する問題にどう取り組んでいくべきかを考え



させられる非常に有意義な報告であった。私自身もそうだが、今回の報告を聞いて自分なりの取り組みを始めた人も多いと思う。菅原さん、新たな気づきをありがとうございました。

(文責 原田 良太)

北松浦支部 例会報告

日 時	3月20日(水) 19:00
会 場	(有)酒の一斗 吉井本部
テ ー マ	国際交流委員会 インドネシア研修旅行報告会
報 告 者	(株)稲沢鐵工 代表取締役 稲沢 文員 会員



今回の例会は、2/26～3/3に行われた北松浦支部 国際交流委員会インドネシア研修旅行報告会を行いました。

(株)稲沢鐵工では、14年前から海外技能実習生制度を利用しており、今回の研修旅行の目的はミトラ・ジャヤ・インドネシア(インドネシア実習生送り出し機関)へ出向き、次年度日本へ来日する実習生・学校経営者との交流と、以前同社に在籍していた実習生が地元へ帰郷し、村長となった中部ジャワの「マゲラン・サラマン・カリレホ村」の村民との交流でした。

まずは、送り出し機関の「ミトラ・ジャヤ・インド



ネシア」へ。ミトラ・ジャヤ・インドネシアとは実習生制度の現地の学校のようなところで、約4カ月間日本語・日本文化・日本の社会システム等を集中的に学びます。平均月収1万円ほどの現地ではとても高額な38万円ほどの学費を支払い、日本で働き学ぶために生徒の皆さんは日々学んでいます。研修に参加した同友会会員は、生徒と教室で質疑応答形式の交流を行いました。生徒さんたちは会員の皆さんに日本での労働条件に関することや、日常生活に関する事など、たくさんの質問のやり取りがあったそうです。参加会員の印象としては、生徒のみなさんはそれぞれ明確な目標があり、とにかく前向きで目が輝き、熱心で一生懸命な印象だったそうです。また、ある生徒さんから「社長さんたちはなにをモチベーションとしてそんなに頑張っているんですか？」と質問があったそうで、稲沢さんは同友会理念を紹介し生徒のみなさんは大変感心していたそうです。最後は生徒さんたちと一本締めや握手会をして楽しい雰囲気で大変盛り上がったそうです。

次にマゲラン・サラマン・カリレホ村へ。4年程前

に帰郷した実習生のアグスさんが村長に立候補し見事当選。村長になりたての頃はたくさんの悩みがあったそうで、実習生の面接のため毎年インドネシアを訪れる稲沢さんはアグスさんの相談に乗ったり、村の皆さんに日本のことなどを講演したりしてアグス村長のサポートをされたそうです。二年ぶりの再訪問となった今回、大きな「歓迎」の横断幕が掲げられ、村の皆さんに一同熱烈な歓迎を受けたそうです。それから村の皆さんと日常生活のことや、村の観光開発などについて村の庁舎で交流会を行いました。交流会後、村人たち手作り村一番の観光スポットへ。そこは山奥の展望所で、手作りの道や階段、道途中の休憩所などすべて手作り。展望所は緑豊かで、見晴らしの良いたても気持ちのよいところだったそうです。

報告後、海外技能実習生についてグループディスカッションを行いました。日本では海外技能実習生についてまだ馴染みが薄く利用しにくい業種もあったり、リスクを懸念しがちなところもあるという意見や、海外技能実習生ならではの自国への思いや目的、就労意欲の高さなどにより、周りの日本人労働者がいろいろな気づきを得られるメリットもあるという意見もありました。

人手不足などにより問題を抱える事業所も多数ある現在、海外技能実習生制度を上手く活用し、課題を解決していくことも経営者としては大変重要なことだと学びを得られた例会でした。

(文責 上野 健太郎)

五島支部 例会報告

日 時	3月23日(土) 18:30 ~ 21:00
会 場	福江総合福祉保健センター
テ ー マ	同友会で学び自社経営に活かしたいこと
報 告 者	(株)環境エコクリーン 統括部長 山口 大輔 会員 (諫早支部)



山口さんは大学卒業後東京で経営コンサルタント他様々な職種を経験し、本人曰く良くも悪くもスーパースターだったそうです。帰郷することなど微塵も考えなかった環境だったそうですが、会長である父親の懇願に腹をくくり、帰郷を果たします。

経営状況は経費の乱用により、悲惨たる状況だったそうですが、父親と力を合わせ少しずつ回復していきます。その後同友会に入会し、入会当初は「皆と楽しく飲む会」との考えだったそうですが、存在意義にも変化が生じていきます。支部役員、支部外の多くの例会出席、仲間づくり委員会活動等々多くを学び会社経営に反映させています。

中でも同友会の3つの目的や同友会理念、人を生かす経営を深く追求し学び、経営に実践されている点は

見習わなければいけないと参加者一同感銘を受けていました。

グループディスカッションでは同友会に入会し「相談できる仲間を得た」「本音を語れる貴重な会」「経営者の部活動のような存在だ」等充実した意見が多く飛び交っていました。半面、学びをまだまだ会社経営に反映させないといけないとの反省する会員も見受けられました。

五島支部会員の出席が8名と少ないのが残念でしたが、山口さんの元気、座長を務められました馬場支部長との強い絆を感じられるコンビネーション、懇親会での皆の笑顔、学びと元気を沢山いただきました。諫早支部の皆様ありがとうございました。

(文責 谷川 喜一)



青年経営者会 例会報告

日時 3月21日(木) 10:30～12:00

会場 長崎ペンギン水族館



今年こそはハタ揚げをと思っていましたが、残念ながら今年も雨でした。しかし、雨でも楽しく！！を motto にペンギン水族館にて子供達と交流をしました。

初めは緊張した様子でしたが、ペンギンを見たり、海の生き物と触れ合ったりで楽しく過ごしていました。お昼ご飯は豚汁を何度もお替りしてくれました。午後からは、青経メンバーとじゃんけん列車をしました。私も一緒に中に入って遊びましたが、おんぶをしてあげたりして、私自身が子供達との触れ合いを楽しみました。○×クイズがしたいとのリクエストもあり、私



達に慣れてもきてくれました。○×クイズは多少のケンカもあったものの、景品もあり、とても盛り上がりました。この時には、一人ひとりとのコミュニケーションもとれ、積極的に子供達が関わってくれました。

「ハタ揚げと水族館どっちがよかった？」と聞くと、「どっちでもいい！どっちも楽しいから！」と返してくれました。ハタ揚げはできなかったけれど、子供達に楽しい思い出になれば、良かったのかなと思いました。バスを見送る際、バスの窓越しからいつまでも手を握り合えた事が忘れられません。きっかけはハタ揚げかもしれませんが、青経ならではの子供達との触れ合いは続けていきたいと思いました。

(文責 長崎出島支部 菅原 千代枝)

2019年度 合同入社式 開催報告

開催日時：4月1日(月) 13:00～17:00 会場：長崎インターナショナルホテル



長崎県中小企業家同友会 2019年度合同入社式を新入社員37名で開催。

金井政春代表理事による新入社員に向けてのお祝いの言葉と同友会の三つの目的「よい会社をつくろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくろう」を説明。同友会の会員企業に入社されたことの意義を伝えられ、これからの新入社員の皆様への期待を述べられました。

そして私からは良い経営環境は経営理念・経営ビジョン等に基づき、新入社員のみならず全社一丸となって取り組むことを伝え、第一部の横田耕詞副代表理事による「社会人とは」の記念講演がスタート。

人生に成功する秘訣は、夢目標を描いて頑張ること、自分で25年後の人生目標を掲げて全て叶えてきた実体験をもとに、いい言葉を使う、いいことを想像する、自分の感情とうまく付き合うこと、松下幸之助氏の運がいいと思いなさい。そう思ったらどんどん運が開けてくるんだなどの内容があり、親入社員の立場に立った分かりやすい内容での講話をいただきました。

第二部はコミュニケーション研修。終了後のアンケートの結果は37名中大変良かったが27名(73%)、良かった9名(24%)、普通1名(3%)という結果になっており、記念講演の感想では「社会人として働く上や生きていく上で大切なこと、必要なことをたくさん知ることができた」「今までの自分にはない考え方を知り、価値観に変化を与えることができた」「人生の先輩としてとても大切な話を聞け、本



日から目標に向かって日々努力をしていきたいと思った」等々。コミュニケーション研修の感想では「長崎地区で共に頑張る企業の人と知り合うことができた。また人前で話す経験を得ることができた」「グループ全員初めての方でしたが楽しく話すことができました。自分の意見をしっかり言う事ができ他の人のことも知ることができました」「コミュニケーション研修をまた受けたいと思いました。多くの人と話す機会が増えたら嬉しいです」などの感想をいただき、楽しかったの言葉が印象に残る合同入社式でした。

(文責 県共育委員長 松本 一孝)



中同協 第4回 幹事会 参加報告

開催日：3月12日(火) 会場：アルカディア市ヶ谷

代表理事 金井 政春

大成功に終わりました第49回中小企業問題全国研究集会 in 長崎の熱気も冷めやらぬ3月12日、今期4回目の幹事会に参加して来ました。全国から93名の幹事、中同協役員7名、全国の事務局より35名の参加にて開催されました。長崎からは山田事務局長と横田副代表理事の3人での参加となりました。会場に入りますと多くの方から「長崎全研良かったよ」、「お出迎え、お見送り最高に気持ち良かった」、「龍踊り・瑞宝太鼓に感動した」、「記念講演は勉強になった」等、多くのお褒めと労いの言葉をいただき松尾実行委員長をはじめ実行委員会の皆様方に改めて感謝の気持ちが甦りました。

会議が始まり全研の実施報告をさせていただきました。会場が狭く分散型になったことや一人でも多くの方に参加してもらうために実行委員会では何度も何度も会議を重ねた結果、当日は殆どトラブルも無く終わることができ、信頼関係と一体感が生まれました。長崎同友会として30年振りに大きな学びをいただきました。この一体感をこれから会員拡大に向け2019年度末には会員数900名を目指しますと報告させて



いただきました。

会員拡大の件は会議の冒頭中山幹事長より2018年度2月末までの集計で会員数がマイナス、及び会勢が伸び悩んでいる県の代表理事は指名されその場で対策と意気込みを発表させられました。

5万名達成へ向けた決意の強さと残された日数からの焦りを感じ取りました。

その他、時間がかかった議題が消費税10%引き上げ凍結等への取り組みについてでした。主な意見としては、「消費税増税により消費が低迷することは確実に中小企業への影響は大きい。」「消費税増税は将来の

次の世代のことを考えると避けられない。」「軽減税率やインボイス等の導入に反対すべき。」「10月実施予定の問題を今頃になって全国的な反対運動など手遅れではないか」といったものでした。

中同協としては消費税凍結の方向で進みたいとの方

向性が示されましたが、各地同友会で勉強会を開き方向性を中同協へ報告することで決まりました。会員5万名達成、消費税増税問題と活発な意見交換があり、身の引き締まる思いと意見の取り纏めの難しさを痛感して帰って来ました。

副代表理事 横田 耕詞

中同協第4回幹事会へ金井代表理事、山田事務局長と参加してきました。

まずは会員増強の件で話があり、3月1日現在の全国会員数が昨年から481名増加の報告と共に、5万名達成へ向け、会員数が減少している同友会に対し厳しい指摘がなされ、会員数が伸び悩んでいる同友会の代表から今後の意気込みについて一言ずつありました。各代表さん、かなりのプレッシャーだと感じました。

また、今年10月に実施が予定されている消費税の10パーセントへの引き上げについて、中同協は反対の意向であり、具体的に運動をどうするか意見交換

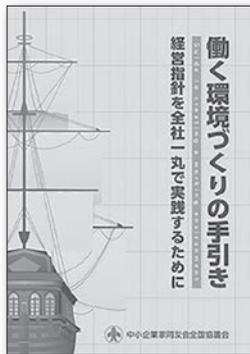
がなされました。この時点での反対の署名を集めるのは、動きとして遅すぎるし、消費税率アップについて、それだけの勉強も各同友会でやっていないとの厳しい意見が交わされました。そんななか、今後中同協として国会の各会派に要望活動を行うこと、税率を引き上げた時の影響について会員へアンケートを実施することで意見がまとまりました。

他にもいろいろな議案が意見交換され、グループディスカッションの時間がなくなるほど白熱した意見が交わされました。

幹事会に出てみて、全国の各同友会の代表の方が日本の行く末を考えての提案や真剣な意見交換がされており、レベルの高さを感じた幹事会で貴重な体験をさせていただきました。

書籍の紹介

購入を希望される場合は、同友会事務局(095-822-0680)までご連絡をお願いします。



「働く環境づくりの手引き」

A4判 40ページ 頒価 1,000円

<目次から>

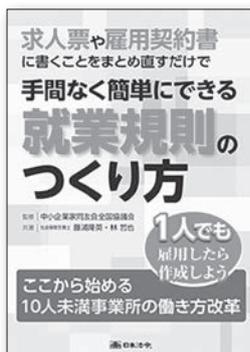
- 第1章 「働く環境づくりのガイドライン」とは
- 第2章 経営者の覚悟（経営姿勢）
- 第3章 10年後の働く環境ビジョン～社員と語り合いながら
- 第4章 現状確認～「働く環境分析シート」の活用
- 第5章 未来年表～10年ビジョンを達成するための未来計画を定める
- 第6章 付加価値（生産性）向上計画～働く環境づくりのための計画を定める
- 第7章 就業規則の改正計画～人を生かす就業規則の本来的あり方
- 第8章 組織的取り組み～社員とともに見直し、運用する



「新版：共に育つ2－働くことの意義と成長、労使見解と共育の関係を考える」

A5判 63ページ 頒価 500円

全5冊シリーズを予定している『共に育つ』の第2巻目。梶谷俊介・中同協社員教育委員長の問題提起「私たちの経営に労使見解をいかすために」（2016人を生かす経営全国交流会問題提起より）、二宮厚美・神戸大学名誉教授の「人格の発達と労働の役割」（共に育つIより加筆修正）を掲載。人間にとっての労働の意義、そして労使見解を軸にした「共育」をどう考えるかを学べる一冊。



「求人票や雇用契約書に書くことをまとめ直すだけで手間なく簡単にできる就業規則の作り方」

A5判 63ページ 定価 500円

本書は、主に就業規則を初めて作成する社員十人未満の会社で活用されることをめざし、(株)日本法令から刊行され、中同協が監修したものです。①決めるべき内容を知る、②社員とともに現状をチェックする、「就業規則要件確認一覧表」を整理する、の3ステップで就業規則の作成を進める内容となっています。

事務局企業訪問

今回は過日開催されました長崎全研の懇親会、「おりょうさん」役で司会をおつとめいただいた北松浦支部：(株)西海福祉の森 宮田京子さんを訪問させていただきました。



【創業10周年の節目】

宮田さんは町議会議員として3期目は町議会議長を務め地域に貢献されながら父親が営んでいた水産業に携わっていました。しかし市町村合併で議員職を失い、水産業も厳しい状況に陥りました。今後の方向性を思案されていた際、知人から障がい者施設に関する話を聞かれます。福祉業界経験ゼロの宮田さんでしたが素直に話を受け入れ、起業する決心をされます。登記や行政への申請書など1から調べ、勉強し行政の担当者の協力を得ながら西海福祉の森が立ち上がりました。最初の施設は「鹿町ひかりステーション」。時は国の施策で「授産型施設」から「就労継続支援事業所」への移行期でした。

鹿町ひかりステーションはB型事業所としてスタート、利用者はすぐに定員に達したそうです。同時にA型としても事業を上げられたそうですが、同じ事業所内で多機能の要素を持つとどうしてもひずみが生じたため、A型事業は江迎ひかりステーションとして新設。その後B型事業として平戸、松浦など施設を展開していきます。創業から10年を迎える今年、今まで走ってきた道を振り返り、新たに、確実なビジョンを描いています。

【人】

宮田さんの事務所には経営理念、社是とともに、2014年度から取り組んでいる「今年の漢字」が飾ってあります。2014年度は「攻」。その後「夢」「和」「実」「拓」と続き、今期は「進」。攻めの人事異動から社員さんたちの夢でもある福利厚生の実現。そこから社員さん達の和を重視し、そこからいろいろな結果としての実りを得ました。昨年の「拓く」年から、今年は前進する年と位置付けています。西海福祉の森の事業は利用者という「人」、事業を支える社員としての「人」。西海福祉の森の仕事は人に尽きると話します。利用者や社員が安心して利用、働くことができる環境づくりのため、長崎県の「誰もが働きやすい職場づくり実践企業認証制度(略称:Nぴか)」にチャレンジ、最高の5つの星のうち、4つ星の認定も受けています。業界ではなかなか難しかった週休2日、毎週水曜日はノー残業デーなどの社内改革が実を結び、外部からの客観的な評価を得たことは宮田さんにとっても



会社にとっても大きなプラスになりました。

このような社内改革は経営計画会議、管理者会議、利用者支援会議及び工賃会議等担当者別の会議等を通じて、業務の効率化や仕組みづくりに大きく生かされています。

【これからの取り組みと同友会活動】

起業から障がい福祉事業所7施設及び特定相談支援事業所2施設を開設し、目一杯走ってきた宮田さんですが、今後は一つ間を置き、新規施設の開設ではなく、既存の7施設の利用者の定着率アップなどを考えています。そのためにも社員の当事者意識を高めることが重要だと感じています。事務局長統率のもと、施設長を中核にそれぞれが機能性を高め強固な信頼関係を築き、共生社会の実現に向けて全社一丸となって取り組むと力強く話されました。利用者により高い工賃を支払うことができる仕事の受託開拓もその取り組みの中の一つです。これは西海福祉の森だけが思っているも実現しないことで、利用者の労働力を低く見積もっている社会の考えを変えていくことも必要になります。

同友会には2014年8月に入会、女性部会・障がい者問題担当委員会(現ダイバーシティ委員会)の立ち上げから携わっていただき、現在も北松浦支部のダイバーシティ委員長を務める宮田さん。いつの日か障がいを持たれる方もそうでない方も当たり前普通に共に生きる社会の実現のため、仲間と手を取り合い、知恵を出し、積み重ねていきたいと熱く語っていただきました。懇親会の司会を務めた長崎全研は全国から参加された約1,300名を前に、諫早支部の太田会員と場を盛り上げていただきました。この経験もなかなかできることではなく、宮田さんの辞書の1ページに大事に記載されたと思います。社是として掲げる「誠実・情熱・感謝」。宮田さんの今までとこれからの生き様をしっかりと映し出していると思います。今後の社業の発展を心から祈念いたします。

<経営理念>

- 一) 心をひとつに、活気あふれる、快適な企業を創ります。
- 一) 時代と共に、変化に対応し、企業の永続的な成長を図ります。
- 一) 地域を愛し、社会貢献に努め、豊かな福祉社会を実現します。

<会社概要>

(株)西海福祉の森
〒859-6125 佐世保市江迎町三浦10-7
TEL:0956-65-3175 FAX:0956-65-3170

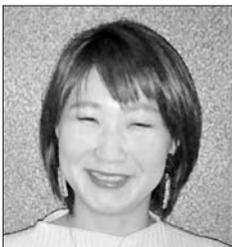
(文責 事務局 峰 圭太)

新入会員の皆さんです < 3月入会・交代・復会 > (敬称略)

< 入 会 >

支 部 名	長崎浦上支部	
氏 名	いわさき ゆういちろう 岩崎 裕一郎	
企 業 名	(有)カネイ商会	
役 職 名	代表取締役社長	
企 業 住 所	〒850-0991 長崎市末石町458-2	
T E L	095-871-1183 F A X 095-871-2340	
業 種	石油製品・中古車販売・コーティング施工業	
スポンサー	西山 展司	

支 部 名	長崎出島支部	
氏 名	たかはし ひでのぶ 高橋 秀暢	
企 業 名	(有)高橋時三郎商店 リビングかねとき	
役 職 名	常務取締役	
企 業 住 所	〒850-0877 長崎市築町4-22	
T E L	095-823-2649 F A X 095-823-6753	
業 種	記念品・贈答品販売業	
企 業 PR	当店は明治38年、陶器の卸からはじまり、現在では内祝い、ご 婚引出物、各種記念品を取りあつております。贈り物の 事ならなんでもお任せください。築町の店舗では、雑貨や服飾、 くちグッズも販売しております。	
スポンサー	峰 圭太 (事務局)	

支 部 名	諫早支部	
氏 名	いわなが あきこ 岩永 明子	
企 業 名	ann	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒854-0071 諫早市永昌東町11-24 セントラルビル2F	
T E L	0957-23-6977 F A X	
業 種	飲食業	
企 業 PR	JAZZが流れる大人の時間をお過ごし下さい。	
スポンサー	市来 勇人	

支 部 名	諫早支部	
氏 名	うえのの あきひこ 上園 明彦	
企 業 名	(株)上園商事 ベストワーク	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒854-0022 諫早市幸町79-43	
T E L	0957-22-1237 F A X 0957-24-4509	
業 種	作業服・作業用品販売	
企 業 PR	当社は作業服・作業用品の地域密着型大型専門店です。(店舗名 ベストワーク)働く皆様のベストパートナーとして安心・安全を お届けする事を目標としています。	
スポンサー	馬場 一信	

支 部 名	諫早支部	
氏 名	みのけ 三宅 ちはる	
企 業 名	(株)三宅海産物店	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒854-0006 諫早市天満町12-7	
T E L	0957-23-2228 F A X 0957-24-2856	
業 種	海産物卸売業	
企 業 PR	おいしい海産物を卸しております。	
スポンサー	樋口 康治 (福岡同友会 代表理事)	

< 交 代 >

支 部 名	諫早支部	
氏 名	くま しょうご 熊 翔伍	
企 業 名	ロイヤルベルズ諫早	
役 職 名	支配人	
企 業 住 所	〒854-0053 諫早市小川町75-1	
T E L	0957-23-1290 F A X 0957-23-6519	
業 種	婚礼サービス業	
企 業 PR	1974年に玉姫殿としてオープンし45周年を迎える年となりま した。現在では、名称をロイヤルベルズ諫早に変え地域の皆様 のご婚礼・宴席のお手伝いをさせていただいております。	
前 会 員	斉藤 英之	

支 部 名	佐世保支部	
氏 名	なかほら ひとし 中原 均	
企 業 名	(一社)西日本福祉会	
役 職 名	理事・事務局長	
企 業 住 所	〒849-4256 伊万里市山代町久原1559-1	
T E L	0955-28-0885 F A X 0955-25-8083	
業 種	指定障害福祉サービス事業所・指定特定相談支援事業所	
企 業 PR	就労継続支援B型唐津ひかり工房では障がい者様の労働の喜び、辛 さ、楽しさなど分かち合っています。相談支援事業所若葉・なぎさ 支援センターは、障がい者様の多様なニーズにお応えしています。	
前 会 員	吉田 貞行	

< 復会(交代を伴う) >

支 部 名	諫早支部	
氏 名	のだ なおき 野田 直樹	
企 業 名	(有)野澤運送	
役 職 名	代表取締役社長	
企 業 住 所	〒859-1103 雲仙市吾妻町平江57-2	
T E L	0957-20-0208 F A X 0957-20-0206	
業 種	運送業	
スポンサー	石橋 ゆかり	

4月理事会 報告

4月10日(水) ホテルニュー長崎 出席30名 欠席6名

開会あいさつ (抜粋) - 金井代表理事

お疲れさまです。今期をもって退任される方、大変お疲れさまでした。新任の方、どうぞよろしくお祈りします。来期は多くの方が理事として残ります。今期達成できなかったことの来期の達成を、どうぞよろしくお祈りします。若干退会も出ています。来期に向け、仲間づくりもお願いします。全研の時の一体感があればできるはずですよ。

仲間づくりについて

1) 入会・交代・企業変更・退会の承認について
- 入会8名、交代2名、企業変更3名、退会12名を承認

・原田仲間づくり委員長 総括(代理 田中副委員長) - 後半の失速が数字に響きました。3/8佐世保で委員会を実施し、来期は各支部に仲間づくり委員会が回るということで決定しました。年間スケジュールも決めていますので、来期は期待してください。

・金井代表理事 - 例会の出席率が下がっていることと、仲間づくりが伸びないことが心配です。仲間づくりに関しては、最近の幹事会でも厳しくなっています。結果として仲間が増えることは、会が活性化して、行政の見る目も変わり良い方向に向かいます。前月は苦言を申しましたが、委員会で対策を立てていただきました。長崎同友会も50周年を控えていますので、まずは1,000名を目指してご協力をお願いします。

協議・承認事項

1) 2018年度決算(4月9日 石橋監事の監査受検)・2019年度予算案 承認 - 上野財務委員長 (上野財務委員長より詳細の説明あり)
<2018年度 収入の部>
・ほぼ予算通り。
<2018年度 支出の部>
・仮受金・立替金として大きな金額が計上されていますが、ほぼ全研の費用です。
(結論として)
→2018年度決算を承認。総会に上程
<2019年度 予算案 収入の部>
・「会費収入」については仲間づくりの目標と相違はありますが、100名の増として固い数字を見込んでいます。
<2019年度 予算案 支出の部>
・「活動活性化対策費」は100万円を計上。会の活性化の提案をお願いします。
(結論として)
→2019年度予算案を承認。総会に上程する
→「全国大会補助費」について、広報誌用の報告提出時は15,000円、簡易報告は10,000円とすることを承認

2) 2019年度に向けて
(1) 定時総会について - 山田事務局長 (これまでの決議事項)
・開催日 - 4月19日(金) ・会場 - 諫早観光ホテル 道具屋
・懇親会参加費5,000円
・記念講演講師 - (株)植松電機 代表取締役 植松 努氏(北海道同友会)
・講演テーマ 「思うは招く」 ~ 夢があればなんでもできる ~
・会員参加目標 250名
(今回提案事項)
・予算案について(交通費補助を含む)
→上記の提案事項を承認

(2) 経営フォーラムについて - 馬場諫早支部長 (これまでの決議事項)
・開催日 - 10月19日(土) ・会場 - 国立諫早青少年自然の家
・記念講演講師 - 副島 正純氏
一般社団法人ウィルチェアスリートクラブソシオ SOEJIMA

(今回提案) - 組織図、全体参加目標、分科会構成
→組織図、全体参加目標、分科会構成について承認

(3) 役員研修会について(報告事項)
(これまでの決議事項) 講師に中同協 鋤柄相談役を招聘(9月6日(金)に変更)
→上記を確認

3) 中同協 幹事会からの検討・対応依頼事項について
下記4項目について、各県での検討・対応の依頼あり
①日本経済ビジョンについて
②同友会運動の将来展望について
③2019年度の課題と活動方針について
④消費税増税凍結対応について
→上記を確認
4) 第13回九州・沖縄ブロック 支部長・支部役員研修交流会について
6月20・21日(木・金) / リーガロイヤルホテル小倉 / 参加費13,000円(宿泊費別)
参加目標20名 / 要請 1日目司会・グループ長5名
司会は中村副代表理事。グループ長のご協力をお願いします
(中村副代表より)1日目の司会を仰せつかりました。皆でたくさん学んで、九州・沖縄ブロックの方と交流しましょう。ぜひ一緒にいきましょう。
→上記を確認

報告・連絡事項

1) 3月 県本部・支部・委員会等の活動状況について
<委員会等>

例会	3月19日(火)長崎浦上支部例会の前後に第8回例会委員会を開催。 第1部(例会前)…各支部例会状況の報告(全研についての振り返り)、今後の例会委員会の日程、来期の例会委員会について、年間例会最多出席賞、例会企画書の仕様変更と役員会での提案、長崎浦上支部の現状報告 第2部(例会後)…その日の例会についての意見交換。
経労	活動計画 1) 経営者塾の開講 3/15 小規模事業者会員向け経営指針実践セミナーNo.3 開催 1名参加/4名申込み 2) 経営指針実践セミナー2018の開催 県主催 終了 島原 3/12 No.7開催 4名参加/7名申込 北松 3/25 No.7開催 6名参加/12名申込 3) 県委員会活動、支部委員会活動の活発化 No.4 経営労働委員会 開催 委員長・島原・諫早・事務局 4名参加 ・1/29 中同協委員長会議の報告 ・経営者塾の今期の反省と来期の方針について ・支部活動の活性化依頼
共育	3月9日(土) 第3回新入社員フォローアップ研修開催/長崎インターナショナルホテル 参加者17名 1年間の自分の年表を報告 研修前に県共育委員会 開催 年間のスケジュールを決める 4月1日(月) 2019年 合同入社式 開催予定 時間:12:30~17:00 場所:長崎インターナショナルホテル
政策	■【3/20(水)長崎景況レポート2018発表会開催】@長崎商工会館2Fホール 14:00~16:30 本年政策委員会の新たな取り組みとして長崎大学との連携事業となる「県内企業(同友会)ヒアリング調査」の結果をまとめたものを長崎県の景況として発表会を行った。当日は同友会会員のみならず、田上富久長崎市長をはじめ長崎県・市の行政職員や、金融機関・県内経済団体からも多数のご出席をいただいた。また、メディア数社も取材に来ていただいた。本年度初めての取り組みであったが、中小企業の実態や県内景況を知る上では、有効な手段であったと振り返り、次年度以降により良くつなげていきたい。(参加63名 会員27・ゲスト22・大学11(内学生9)・事務局3)
情広	3月25日(月) 18時00分~18時(諫早市)にて委員会を開催。 1. 広報誌 編集会議 2. ホームページについて ・ホームページ内容見直しについて ・現在、定時総会バナー貼り付け済 ※来期も各イベント案内、告知、情報発信のため、引き続きバナー作成の継続を行うことを確認 3. e.doyu 利用 2月のアクセス、登録数の低下 ※低下の原因を3月時のアクセス、登録数より再度分析を行う。
仲間づくり	3月8日 佐世保市において今年度最後の仲間づくり委員会開催。次年度の予定について確定。また、マニュアルについての再編を確認。次年度計画の確実な実行を確認。

ビジョン	3月15日(金)つくば倶楽部にて委員会を開催し、第4次ビジョンの検証を行いました。 4月の委員会にて各委員会へのフィードバックの内容がまとまり次第、理事会メーリングで配信。定時総会にて委員長川上より、第5次ビジョンについての説明を行い、承認を得る流れを確認。
ダイバーシティ	4月3日 委員会開催 6月 例会予定 この2年間、皆さまにご協力いただき本当にありがとうございました。得るものがとても多く、大きかったです。理事会でもたくさん学ばせていただきました。これからもダイバーシティ委員会にはかかわっていきますので今後ともよろしくお願いします。
共同求人	・共同求人委員会をテーマとした大村支部3月例会(3月20日)大村支部共同求人委員会が主催して3月例会を開催。参加者約40名。共同求人委員会が推奨する「選ばれる企業づくりを通して地域に若者を残す」ストーリーで、県共同求人委員長の橋口が報告。座長は大村支部共同求人委員長大塚会員。この例会をもって、2018年度「共同求人委員会流布の年」がひとまず終了した。各支部の共同求人委員さんには、ご自身所属の例会開催に大変なご尽力をいただいた。心から感謝申し上げたい。 ・福岡同友会共同求人委員会主催、合同企業説明会に長崎同友会として参加(3月22日)アクロス福岡にて開催。今回は福岡同友会共同求人委員会が全九州の共同求人委員会に呼びかけた。長崎同友会は、共同求人委員会設立初年度ということで、勉強のために長崎同友会として参加した。福岡で学ぶ長崎県出身の学生さんのUターンや、Iターンの学生さんを対象にブースづくりをして当日に臨んだ。参加者は、吉澤会員(浦上)、中尾会員(出島)、時会員・野方会員(諫早)、倉原会員(島原)、大塚会員(大村)、橋口(佐世保)、菅原会員(ダイバーシティ委員会)、峰事務局次長の9名。4時間半のイベントで参加した学生は45名。昨年度の約半分だった。また、参加した学生の多くが事前にリクナビ・マイナビでエントリーしており、事前接触がなければもっと少なかったであろうということだった。長崎のブースには2名の大学生が立ち寄ってくれた。今回の合同企業説明会は、共同求人を知る上で、長崎同友会として大いに勉強になった。長崎同友会では時代を見据え、学生のニーズをよく調べた上で、学生にも企業にも効果的なイベント開催を目指したい。
青年経営者	3/14役員会、3/21第33回ハタ揚げ大会。雨天の為「ペンギン水族館」に会場を変更。100名を超える方にご参加いただき大いに盛り上がった。また水族館のご厚意でバックヤードツアーも開催。運営も多くの方に支えていただき無事に終了。

5/11は19:00~ホテルニュー長崎にて総会を開催。
(当日)・養護施設と青年経営者会で共同求人を検討中
・来期は3ブロックに分かれての活動を検討中

- 2) 例会について(更なる充実をめざして) - 本多例会委員長(代理:事務局 田口主任)
<依頼事項>
下記2点について各支部へ5月理事会報告の提出時に記載を依頼
①「今期取り組むこと・改善していくこと」
②「今期の出席率・返信率目標」
- 3) 3月9日(土) 第3回新入社員フォローアップ研修開催報告 - 松本 共有委員長
新入社員に1年の気持ちの変化を包み隠さず発表していただきました。ぜひ新入社員がいる方は今回のセミナーに参加いただき、社員の悩みをじかに聞いて欲しいと感じました。また新入社員も周りの人も同じように悩んでいるということに気づき視野が広がるセミナーです。
- 4) 4月1日(月) 合同入社式開催報告 - 松本共有委員長
37名に参加いただきました。横田副代表から非常に良い記念講演をいただきました。共に育つということを実践できている合同入社式でした。新入社員がいない方もぜひ参加してください。
(横田副代表理事より)簡単に引き受けましたがなかなか大変でした。自分が1番勉強になりました。どうやって会社に入って良かったと思ってもらえるか考えることができる良い機会でした。共に育つことができました。
- 5) 4月7日(日) 全研御礼 V・ファーレン長崎応援観戦 報告 - 松尾全研実行委員長
130数名で同友会のオレンジのハッピを着て応援してきました。高田社長からも応援についてお礼がありました。今後もV・ファーレン長崎の応援よろしくお祈りしますとのことです
- 6) 吉田事務局員 退職報告
吉田局員より退職の申し出があったことを報告
- 7) その他
・峰事務局次長より新しい書籍の紹介。『働く環境づくりのガイドライン』『就業規則のつくり方』『共に育つ2』の3冊。宇土委員長よりも補足があり、『働く環境づくりのガイドライン』は『経営指針成文化と実践の手引き』の副読本として発刊されたものであること、『就業規則のつくり方』は最低限必要なものが確認でき、また同友会としても必要なものも書かれています。今後社会保険労務士の方と連携して、活用を考えています。

※次回開催 5月9日(木) 19時 つくば倶楽部

会員動向

《2018年度のうごき》

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目 標	150	130	125	100	100	200	55	45	(1000)
期 首	113	105	87	79	66	160	43	31	684
入 会	7	19	17	16	8	31	1	2	101
復 会		2	1	1		2		1	7
退会(今回含)	7	15	7	5	6	12	2	3	57
期 末	113	111	98	91	68	181	42	31	735

退会者 (敬称略)

会員名	会 社 名	支 部 名	入会年月
岩本 泰明	(株)Tamago	長崎出島	2017年12月
佐々田 剛史	オフィス ドゥー	長崎出島	2014年 3月
竹山 清美	(同)虹いろのたね	長崎出島	2015年10月
菊井 英隆	(有)十八不動産	大 村	2015年 8月
下釜 千博	美容室 Soul Flower	大 村	2018年 3月
首藤 洋一	ソニー生命保険(株)	大 村	2008年 2月
西 貴史	まつばや百貨店(株)	大 村	2018年 9月
磯田 里美	スナック オアシス	諫 早	2018年 3月
木竹 広賢	税理士法人 ウィズラン	佐 世 保	2011年 3月
久野 さとみ	なかの人事労務事務所	佐 世 保	2014年 6月
松田 律子	(福)民生会	佐 世 保	2012年 8月
上野 健太郎	(株)KENT	北 松 浦	2017年10月

●企業住所等変更

- 平野 圭司 会員** (長崎浦上支部) **徳田 信義 会員** (大村支部)
新役職: 代表取締役社長 新役職: 理事 会長
- 徳田 義彦 会員** (大村支部) **原川 俊郎 会員** (島原支部)
新役職: 執行役員 総務部長 新役職: 代表取締役
- 東 浩一郎 会員** (佐世保支部)
新住所: 〒850-0035 長崎市元船町9-18 長崎BizPORT 4F
- 楠本 聡 会員** (佐世保支部)
新住所: 〒857-0042 佐世保市高砂町4-15-202
新TEL番号: 0956-76-7600 新FAX番号: 0956-76-7600
- 津崎 幸三 会員** (北松浦支部)
新役職: 代表取締役会長
- 宮田 京子 会員** (北松浦支部)
新会社名: (株)西海福祉の森 新役職: 代表取締役
新住所: 〒859-6125 佐世保市江迎町三浦10-7
新TEL番号: 0956-65-3175 新FAX番号: 0956-65-3170

お詫び: 広報誌3月号にて、新入会員(復会交代) 松嶋 絵梨子さん(長崎出島支部)の御役職名を誤って記載しておりました。正しくは「経営戦略室 課長」でした。お詫びして訂正いたします。申し訳ありませんでした。

5月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

●長崎浦上支部

日 時 5月28日(火) 18:30～21:00
会 場 長崎新聞文化ホール・アストピア
テ－マ 障がい者雇用経験報告と次期委員長の活動
報 告 者 (有)菅原産業 取締役
菅原 千代枝 会員 (長崎出島支部)
(有)東友建設 営業
寺尾 昌晃 会員 (諫早支部)

<菅原会員>

- ・自社での障がい者雇用の経験の報告(動画等を交えて)
- ・県の初代ダイバーシティ委員長としてのこれまでの活動の報告

<寺尾会員>

- ・諫早支部ダイバーシティ委員会として独自に行なってきた活動の報告
- ・平成31年度アストピア今後の活動予定の報告

●長崎出島支部

日 時 5月21日(火) 18:00～21:30
会 場 ホテルニュー長崎
内 容 県委員長の活動方針のビデオ鑑賞

●大村支部

日 時 5月16日(木) 18:30～21:00
会 場 サンスパ大村 2階会議室
テ－マ 経営労働委員会担当例会
～経営指針作りは人を生かす経営の原点!～
報 告 者 チェンジコンサルティング(同)業務執行社員
宇土 敏郎 会員

同友会の3つの目的である「よい会社をつくろう」「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくろう」を実現するためには経営指針作りこそが原点です。同友会の経営指針は1.経営理念、2.経営計画、3.10年ビジョンで構成されています。今回は経営指針作りのはじめの一歩として経営理念作りに取り組まれた会員さんの事例紹介を交えながら県経営労働委員長である宇土会員が熱く語ります。

●諫早支部

日 時 5月23日(木) 18:30～21:00
会 場 四季の蔵 食楽亭
テ－マ ピンチこそチャンス
～本当のしあわせとは、困難の中にある～
報 告 者 杏てい 店長
野田 文子 会員

5年前、「何があっても私は負けない!笑って乗り越えて行くよ!」と新年を迎え、子供達、家族に宣言した直後の朝の出来事は、私や家族に成長のチャンスを与えてくれました。また、様々な病気、疾患を患いながらも、困難を受け入れ、そして、困難にこそ感謝し、何があっても負けない勇気!嵐にもゆるがない希望!を持つことで乗り越えてきました。そして、同友会との出会いが、新たなスタートの後押しになり、今、プロジェクトが動き出しています。人間の可能性を信じ、寄り添い共に歩んできた「杏てい」の女将が、一步一步を振り返りながら…。そして、更なる夢に向かう挑戦の人生の歩みを報告します。

●島原支部

日 時 5月23日(木) 19:00～21:15
会 場 HOTELシーサイド島原
テ－マ 経営指針書発表会(仮)
報 告 者 3～4名程度

昨年度ありました経営指針作成セミナーの受講者が半年かけて作成しました経営指針書の発表を行っていただきます。同友会といえば経営指針書です。具体的な内容と重要性がわかるとと思います。

●佐世保支部

日 時 5月17日(金) 18:30～21:00
会 場 アルカス佐世保 3F 大会議室
テ－マ 未定
報 告 者 STSOL 府川開発
府川 正樹 会員

●北松浦支部

日 時 5月21日(火)
会 場 松浦シティホテル
内 容 未定

●五島支部

日 時 5月23日(木) 18:30～21:00
会 場 福江総合福祉保健センター
テ－マ 未定
報 告 者 (有)マコト測量設計 代表取締役
設楽 誠 会員

●青年経営者会

日 時 5月11日(土) 19:00～
会 場 ホテルニュー長崎
内 容 定時総会

広告募集

<4cm×9cm>

複数月 割引	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
	3ヶ月	6,000→5,000